

# 県北・県央地区MC協議会を構成する 四市合同で取り組んでいる多数傷病者対応 訓練の実施について



神奈川県

県北・県央地区メディカルコントロール協議会

教育研修作業部会事務局

大和市消防本部

救急救命課 加藤 和也

# 県北・県央地区医療コントロール協議会の概要

神奈川県医療コントロール協議会

県北・県央地区医療コントロール協議会

会長

北里大学病院 救命救急・災害医療センター長

浅利 靖

教育セミナー  
幹事会

検討部会

安全管理部会

プロトコール  
作業部会

検証関係  
作業部会

教育研修  
作業部会

# 訓練開始の経緯

- 1 平成23年の東日本大震災や、平成24年に関越自動車道で発生した高速バスの事故を契機とし、全国的にも多数傷病者対応事故が相次いだ。
- 2 これらの大事故が当地区で発生した場合、活動部隊の相互関係や指揮運用体制、各関係機関との連携強化の面で、現場活動時の混乱を生じることが懸念された。
- 3 当地区MC協議会では、平成24年度から多数傷病者対応に関する知識と技術の向上を目的として、訓練を行っている。

# 多数傷病者対応訓練の目的

- 1 県下消防相互応援協定に基づく訓練を想定し、  
実災害に即応できる体制作りの強化
- 2 災害現場における指揮命令系統の確立及び病院等各関係機関との連携強化の構築
- 3 多数傷病者に対する医療活動(ドクターカー等との連携)及び救命率の向上

# 訓練実施の創意工夫

- ☆年度ごとに指揮隊を4市が輪番で担当
- ☆平成29年度から、指導救命士をスタッフとして活用
- ☆開始当初から、雨天時でも対応可能な体育館を借用

## 訓練の有効性

- ☆指揮命令系統及びドクターカー医師との相互理解
- ☆平成28年7月に当地区MC管内で、過去に例を見ない悲惨な集団殺人事件が発生した際には、各消防機関とドクターカー医師とが双方で情報共有と連携を図り、傷病者の早期搬送及び適切な救命処置が行われた。



# 今年度の訓練風景



# 結 語

2019年はラグビーワールドカップが横浜市で開催され、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎えます。これらの大きなイベントでは、テロ等への万全な体制作りと、迅速な対応が求められます。

それに向けて、当地区MC協議会では、各消防機関が医療機関等との連携を深め、所属する消防職員の一人ひとりが、災害に対する高い認識を持ち、知識・技術の向上に努めてまいります。

「救える大切な命をより多く」

ということを目指して



ご清聴

ありがとうございました。